２０２２（令和４）年度　第３５回　特定テーマ講習会

「カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み-２-」（ハイブリッド開催）のご案内

主催：（一社）日本熱処理技術協会西部支部
協賛：（一社）日本鉄鋼協会（公社）日本金属学会関西支部
　　マテリアルデザイン研究会
後援：ドライコーティング研究会（AMPI）

会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
また当支部の運営につきましては、日頃から格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。
本特定テーマ講習会は、毎回その時事で対応が求められている熱処理技術のテーマを特集しており好評を得ています。

本年度は、昨年度に引き続いて目下の産業界の一大課題となっている「カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み」をテーマとして取り上げます。今回は、エネルギーや自動車に関する最新動向の紹介、カーボンニュートラルを念頭に置いた鋼の製造や研究･開発に関する話題提供、ならびに熱処理分野における CO_2 削減に関する取り組みについてご紹介をします。日頃より熱処理と深い関わりのある会員の皆様方におかれましても興味を引くトピックを揃えております。

皆様の多数のご参加をお待ちしております。

記

１．日時　　**2023 年 2 月 13 日（月）　09：50～16：50**

２．開催方法　　講演者は会場にて講演頂きます。
聴講に関しては下記会場およびオンラインでの聴講が可能です。但し、質疑応答は会場参加者を優先して行います。

新型コロナウイルス感染症の状況により、講演をオンラインで行うことや WEB 参加のみに切り替わるなどの変更があることをご承知ください。

①会場：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）10 階　1009 号室
京阪電車中之島線「中之島（大阪国際会議場）駅」２番出口すぐ
JR 大阪環状線「福島駅」・JR 東西線「新福島駅」・阪神本線「福島駅」から徒歩 10 分
②WEB：Microsoft　Teams を使って配信
インターネットに接続したパソコン、タブレットが必要です

３．定員　　①会場参加　**75 名**（会場希望は先着順とし、定員を超えた場合はご連絡いたします）
②WEB 参加 **100 名**

４．参加費

会員　※	学生会員	非会員
１０，０００円（税込）	１，０００円（税込）	１５，０００円（税込）

※「会員」とは、(一社)日本熱処理技術協会の正会員（個人会員）または　維持会員（会社・団体）の所属者、協賛（マテリアルデザイン研究会）・後援（AMPI）団体の会員です。

受付終了後、参加費を請求させていただきますので、入金期日までのお振込みをお願いいたします。
[お振込み後の参加費の返金は出来かねますのでご了承ください]

5．申込方法　　申込用紙にご記入の上、2023 年 1 月 31 日（火）までにメールあるいは FAX で送信ください。期日までに定員に達した場合はご連絡いたします。
（一社）日本熱処理技術協会西部支部　事務局　山下（月～木：10:00～15:00）
yamashita@dantai.tri-osaka.jp　　fax:0725-51-2527　（電話・FAX 自動切換え）

6．参加について

会場参加予定の方

●開催日 1 週間前を目途に参加証を郵送いたしますので、当日ご持参下さい。
※参加証が届かない際はご連絡下さい。FAX 申込みの場合、送受信エラーの可能性があります。
●当日の体温をチェックして参加証に記入願います。体調不良の場合は参加をお控えください。
●会場内マスク着用（各自準備）、手指消毒（会場に設置）にご協力ください。
●新型コロナウイルスの感染状況により、WEB 参加に切り替わる可能性がある事をご承知ください。

WEB 参加予定の方

●ご本人および連絡担当者に、開催日 1 週間前を目途に視聴画面の URL 等を送信いたします。
●当日は 9：30 以降に接続を行ってください。
●講習会参加にあたっての注意事項
・視聴ページの URL 等を第三者に提供することは禁止いたします。
・講義の録音・録画・撮影（スクリーンショットを含む）、２次配信等は禁止します。
・以下の項目に基づく損害については(一社)日本熱処理技術協会西部支部及び講師等関係者は一切責任を負いません。
①受講者が利用する機器もしくはソフトウェアなどのスペック、設定の不備または故障等により、本講習会を受講できないもしくは快適に受講できない場合。
②受講者が利用するネットワークの品質、状況等により本講習会を受講できないもしくは快適に受講できない場合。
・視聴の際にはヘッドホン又はイヤホンの準備があるとより聞き取り易くなります。

7．昼食・喫煙
館内食事場所　２Ｆ　OIC　CAFÉ（81 席）
５Ｆ　フジオ軒（134 席）
12Ｆ　レストラン「グラントック」（84 席）
●昼食持参の方は講習会場内でお召し上がりいただけます。
その際には黙食などのご配慮をお願いいたします。
●喫煙は１Ｆプラザ　喫煙コーナーでお願いします。

「カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み-２-」
プログラム

1　09:50～10:00　司会進行者挨拶・説明

（一社）日本熱処理技術協会西部支部　常任幹事　藤松威史

2　10:00～10:05　支部長挨拶

(一社)日本熱処理技術協会西部支部　支部長　藤田和久

3　10:10～11:10

講演①「ゼロカーボン社会の実現に向けて～関西電力の取り組み紹介～」

関西電力株式会社　　田中　勇　氏

国連のパリ協定採択を受けて、カーボンニュートラルへの各国の動きが加速する中、日本についても 2050 年カーボンニュートラルを宣言しています。

企業経営にも気候変動対応の取り組みが求められ、環境配慮と経済性の双方が必要な時代が到来しています。

本講演では、関西電力グループが提供するゼロカーボンの取り組みについて、①デマンドサイドのゼロカーボン化、②サプライサイドのゼロカーボン化、③水素社会への挑戦、をテーマとしたロードマップを紹介、特に、地域のお客さまと共に目指す『社会全体のＣＯ2 排出量削減に向けた施策』説明を通じて、会員の皆さまが環境配慮型経営を推進していく上での課題解決の一助となれば幸いです。

11:10～11:20　小休憩

4　11:20～12:20

講演②「CASE 革命と CN（カーボンニュートラル）対応」

株式会社アイシン　　伊勢清貴　氏

自動車業界は 100 年に一度と言われる大変革期(CASE 革命&CN 対応)の真っ只中にある。その対応の現状と今後についてアイシングループを例にとりお話しする。

12:20～13:20　昼食休憩

5　13:20～14:20

講演③
「カーボンニュートラルに向けた神戸製鋼所の技術開発における取り組み」

株式会社神戸製鋼所　永濱睦久　氏

神戸製鋼では 2050 年のカーボンニュートラル達成に向け、独自技術の開発推進、外部の革新技術の活用等により、2030 年には 2013 年度に対して生産プロセスにおける CO_2 排出量を 30-40%削減、技術・製品・サービスを通して社会の様々な分野で 6,100 万 t の CO_2 排出削減に貢献することを掲げている。

本講習会では、製鉄プロセスにおける COURSE50 等の革新技術や高炉-還元鉄活用技術の紹介、冷間圧造部品製造時の熱処理工程を省略する鋼材等を事例として挙げ、CO_2 排出削減に貢献する技術を報告する。

14:20～14:30　小休憩

6　14:30～15:30

講演④「カーボンニュートラルに貢献する鋼材の研究開発事例」

山陽特殊製鋼株式会社　舘　幸生　氏

当社では、特殊鋼材のユーザーにおける CO_2 削減に貢献するエコプロダクトの創出に注力している。本講演では、金型材（工具鋼）や工業炉熱回収装置用耐熱鋼等の研究開発事例を紹介する。

15:30～15:40　小休憩

7　15:40～16:40

講演⑤「熱処理炉における脱炭素社会に向けての取り組み」

中外炉工業株式会社　田中潤也　氏

2050 年のカーボンニュートラルの実現に向けて、その第一ステップとして
熱処理炉の省エネルギー技術のご紹介と脱炭素社会を実現するための技術として
水素燃焼式ラジアントチューブバーナ、アンモニア燃焼式バーナの開発、電熱化についてご紹介致します。

8　16:40～16:50　閉会挨拶

（一社）日本熱処理技術協会西部支部　常任幹事　藤松威史

「カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み-２-」

２０２３年２月１３日（月）

参加申込み用紙

（一社）日本熱処理技術協会西部支部　行　　受付日　　/

e-mail：yamashita@dantai.tri-osaka.jp

FAX：0725-51-2527

申込締め切り：2023 年 1 月 31 日（火）

会社名・団体名		
所在地	〒	
	住所	
連　絡　担　当　者		
お名前		
ご所属		
電話番号（必須）		
メールアドレス（必須）		
参　加　者		
お名前	参加方法 （お選びください）	メールアドレス（必須）
	会場　・　WEB	
	会場　・　WEB	
	会場　・　WEB	
	会場　・　WEB	
	会場　・　WEB	
会　　員	名	￥　（参加費 10,000 円(税込)）
学 生 会 員	名	￥　（参加費　1,000 円(税込)）
非　会　員	名	￥　（参加費 15,000 円(税込)）
合　　計	名	￥
請求書送付方法（お選びください）		メール添付（pdf ファイル）　・　郵送